

附表3 自由記述回答1

問29【現在40歳代以下の方におたずねします】あなたが50歳代になったとき、どのような働き方をしたいと思いますか。また、その働き方を実現するためにどのようなことが必要だと思いますか。

50歳未満スタッフの回答 (主な回答を抜粋して掲載)

1. 高い視点で物事を判断できるような人になり、その能力を経営に活かす。
2. 後進の補助、指導・先達として、十分な知識、技能の習得・豊かな人間性。
3. 常に新しい事に挑戦して行きたい。新たな事に対応する為に広く知識を身に付けて行く事が必要。
4. 子育てと仕事のバランスが取れるよう、気持ちに余裕を持った働き方をしたい。休日の過ごし方、仕事以外にも何か打ちこめるようになれば、充実した生活と感じられるように思います。時間的なゆとりが欲しいです。
5. 身につけたスキル、知識を活かして働きたい。楽しいと思える働き方をしたい。
6. 変化に対応出来る。
7. 自分の知見を活かして、世の中になく新しい技術の確立に取り組みたい、また、仕事と家庭とのバランスの取れた働き方をしたい。その為には自身の技術的知見とマネジメント力を高めること、家族との日ごろのコミュニケーションを取ることが必要だと思います。
8. 生活が苦しくないと感じられる生活ができる得つつ、プライベート、仕事がしっかり区分けできる働き方。仕事はしっかり計画性をもって行う。
9. 第一線を退き、若手に道を譲り裏方に徹する。色々なことを経験し、知見やデータを蓄積していく。
10. 身体に無理のない範囲で現場で活躍していきたい。健康的な体力づくりを30代から心掛けていく。自身の経験を活かし、後輩を指導していく。
11. 「ライフ」の部分に十分な時間を取れる働き方。
12. 金・世間体にとらわれず、好きなことで生きていく・好きなことを見つける・副業を可能にし、本業を持ちながら違うことにチャレンジできる環境が欲しい。
13. まわりの人間から信頼される働き方をしたい。そのためにも、知識をしっかりと身に付けなければならないと思います。
14. 若手の気持ちがわかる上司になりたい。いろんな人とのコミュニケーションが必要。
15. 若手から気軽に頼られるような存在でありたい。業務量は能力の60~70%程度で処理ができ、年間の時間外労働は200時間前後が良い(現状500時間)。そのためには要員を多目に配置していただく必要がある。自分としては周囲とのコミュニケーションを取り、何でも話せる雰囲気作りが必要だと感じる。
16. 世の中の流れにあった働き方をしていきたいと思う。毎日いまを必死に生きているので、15年も先の事はとても考えられない。日本・会社が、明日・来年どうなっているのかわからないので、なんともいえない。
17. ・仕事、プライベートのバランスがとれた人生をおくりたいので。⇒残業のない働き方をしたい。(残業しないとこなせない仕事量だとストレスが溜まる)・今の時代在宅勤務とかも出来る時代なので、出勤して仕事するのが、出勤時間がムダに思える。⇒時間差をつけて(渋滞を避けて出勤する)・IoT時代なのだから、昔の考えをする人材は今まで通

りの仕事の方法（出勤）する。新しい技術を使用可能な人材は在宅勤務にしてほしい。
18. 現場に出て、若手の教育を重点に置いた働き方をしたい。その為には、作業に対して、余裕を持った人員と教育用の機器や設備が必要です。
19. 身に付けた専門知識を生かして、仲間とイキイキ仕事をしたい。そのために、得意分野をつくり、それをつきつめて仕事をし、知識を深めていくことが必要と考える。
20. 介護が始まると予想されるので、家庭と仕事とのバランス→リモートワーク、職務と成果物の明確化。
21. 管理職として、チームまたはグループを円滑に動かしたい。部下への的確な指示や引っばっていけるような働き方をしたい。チャレンジすること。失敗した後に考え再発させないこと。経験を積むことが必要と考える。
22. 技術職として、50歳代までに様々な経験を積み、知識を深めていきたい。50歳代では、それまでに身に付けた技術や知識を活かして、ある分野での専門家として製品の設計・開発に取り組んでいきたい。管理職、スタッフに拘わらず自分の得意なことを活かせるような働き方をしたい。各個人の強みを活かせる環境・役職の整備（管理職、技術関連のスペシャリスト、アドバイザー等）。50歳代の方が持つ知識・経験を若い人に伝承する仕組み、体制の整備。
23. 部下と新しいアイデアを出し合い、市場にない新しい製品、サービスを次々と形にしていく、研究、開発をしていきたい。自分の上司の進捗管理などのマネジメントについて見て学ぶとともに新しいアイデアが生まれつくる土壌を自分で、他社を訪問して学ぶ。
24. 50歳代というと、もはやベテランの域に達しているので、後輩や部下に指導できる様自覚を持って業務を遂行したい。また、60歳が見えてくるので、将来に不安を覚えるかもしれないが、どのような扱いを受けどのような働き方があるのか把握できたら良いかと思えます。
25. 親の介護が必要になってくる為、在宅勤務を選択技として選べる働き方、その為には、ネット環境等のインフラを整備する必要がある。
26. 自分でなければできない技能を身に付けて技術を仕事へ反映できるようにしたい。日々勉強して知識を身に付け繰り返し練習する。
27. 仮に管理職であったとしても、適切な時間内で働きたい。（月 45H 残業とか）国全体で変わることが必要。
28. より多くの人を巻き込んで仕事を進めるようにしたい。そのために硬軟おり交ぜたコミュニケーション能力を高めたい。
29. 自らが主体となり新しい価値を生み出すために、社内外に積極的にはたらきかけ臨機応変に仕事を進めるような働き方。
30. 具体的に想像できません。ただ、効率を求められる流れに対応できるよう、仕事のやり方を考えながら、日々改善を重ねていく必要があると思えます。
31. 責任ある立場で組織のカジ取り、リーダーとして働きたい。そのための、仕事をやり通す力や自分の決断で責任をとる胆力を身につけたい。
32. 早期リタイア。現在は、良いが、今後 AI を始めとする技術革新もすすむ中、50代以上で、会社のニーズをみたく働き方をするのはむずかしい。（周囲の現在を見ていると思う）ので、お荷物になる前にリタイアの道をさぐりたい。
33. 仕事に対して責任を持って取り組むためにも、ワークライフバランスを大切にしたいと思っています。仕事ばかりに時間を取られることのないように、プライベートとの切り換えをできるようにすれば、50歳以降も働き続けることが可能だと考えます。また、女性活躍推進の流れを受けて女性が前へ出ることも増えてきましたが、男女の差別

<p>ではなく区別を踏まえて、女性も働きやすい職場作りも大切なことの1つだと思います。</p>
<p>34. 自分の持っている知識や技術を、若い人に伝え、育てつつ、自らは、サポートと作業に徹する。定常的に行われる、知識の必要な作業ができるように、常に手を動かす。管理職になり、作業（主に、office、excel、特殊なアプリケーション）をおろそかにすると、ついていけなくなり、いざ管理を外れて、メンバーとなった時に何もできない。お荷物にならないように、心がけていきたい。</p>
<p>35. 部下を持ち、仕事とプライベートのメリハリをつけて働きたい。（プライベートの時間を確保する）部下との交流を行い、職場全体でとりくむよう努める。</p>
<p>36. 自分の専門知識やスキルを後輩に伝えていくことをメインにしたい。</p>
<p>37. 肉体労働でない仕事をしたい。</p>
<p>38. ①自分の経験スキルを活かし、会社に貢献できる働き方をしたいです。②色々な仕事を経験して、また仕事に必要とするスキルを身につけることが必要だと思います。</p>
<p>39. プライベートと仕事のメリハリをつけて、仕事中心ではなくプライベートも充実させ、全てにおいての活力を保ちたいです。その為には、単位時間当たりの生産性を向上させる働き方を行い、短時間で十分なアウトプットを行えるようになることが必要だと思います。</p>
<p>40. その時々持っている知識・経験・体力に則した働き方。家庭・子供の人数にも依るが、具体的には、年収1000～1200万円レベルは最低でも必要と考える。そのためには、今から、経験を積み、付加価値を高く付けられるようにならなければならないと考える。</p>
<p>41. 年代を気にすることなく、職場の皆と楽しくコミュニケーションをとり合いながら働きたい。→楽しく、与えられた役割を果たしながら、お金を稼ぐ。→このために 例えば、閉鎖的な部門間の人間とコミュニケーションがとれる機会をつくる。文体活動や社外活動で自身の知名度を上げる。公私をはっきりさせ、広い心を持って、穏やかに過ごす。</p>
<p>42. 海外駐在員として、事業体の将来構想を考えて、関係者を巻き込んで仕事をしていくことで、地域社会にも貢献していきたい。企画業務の進め方を学んでいくことが求められる。</p>
<p>43. 自分のこれまでの経験を生かして、下の世代の育成を行い、下の世代が50歳代になっても働いていたいと感じる職場にしたい。</p>
<p>44. ライフワークバランスを大切にできる働き方にしたい。生活に不安になりたくない。（お金）</p>
<p>45. 自分の経験を発揮できるような働き方をしたいと思っている。子育てしながらも変わらず今の業務をできるようにする必要がある。</p>
<p>46. 今は家からかなり遠い事業所で仕事をしている。定期的な人事異動で、家から近めの事業所で働けるとうれしい。家族の介護など、この先いつ始まるかわからないので、職場や仕事内容など、柔軟に対応できる職場が理想。</p>
<p>47. 家族との時間も大事にできるように、業務の拘束時間が長すぎることはないような働き方をしたい。そのためには、曜日各に残業時間を決めて、その時間内で終われるような仕事のしかたを工夫することが必要だと思う。</p>
<p>48. 今の働き方とあまり変わらないことを臨みます。その為には、今行っている実務を一つ一つ着実にこなして行き、経験を積むことが必要であると思います。</p>
<p>49. ワークライフバランスが実現できている環境で働く。その為には、30～40代前半には会社にとって必要な人材となっている事が必要だと考える。</p>
<p>50. 1つは、部下の業務を俯瞰的に見ながらサポート、フォローができて、成長できる環境をつくり出せること。2つ目は、問題や課題に対して、知識を活用し、根拠を持って説明、</p>

<p>解決できること。この2つができるような働き方をしたいです。その為には、今関わっている業務だけではなく、他の Gr. 部署のプロジェクトや活動にも興味を持ち探求心を持ち続けること、相手がどのようにすれば喜ぶか、何を考えているかを常に意識することが必要だと思います。</p>
<p>51. 今まで経験してきた知識等を活かして、部下・後輩へ伝承していければと思います。そのためには周囲から認められるよう、また裏切らないためにコンプライアンス意識を高めること、何でも言いあえるよう風通しの良い職場づくりに努めていく事が必要と思います。</p>
<p>52. 家庭のためにももう少し時間をとれるようになっていたい⇒オン、オフの切り替えをしっかりし、帰れるときは早く帰る。</p>
<p>53. 技術意識、営業アプローチ方法を後輩へ伝承できるようになりたい。そのためには、未経験に対しチャレンジしてスキルをみがく必要があります。</p>
<p>54. 実務を離れマネジメント主体での働き、実務レベルの仕事を完璧にこなせるだけの経験を積む。</p>
<p>55. 安定した収入。健康面で苦勞しないような仕事をしたい。</p>
<p>56. 毎日職場に来なくても出来る業務形態になっているのではないのでしょうか。</p>
<p>57. 時間や勤務地に捉われない働き方をしたい。成果の見える化やそれに対する対価の見える化、働き方を自由に選べる制度が必要。</p>
<p>58. 無駄を徹底的に省いた働き方。その仕事、資料作成が本当に必要なのかということを考え抜くことが重要。世界的に日本人の生産性が悪いと言われるのも上記の無駄が一因だと思う。それができて真の働き方改革になると感じる。</p>
<p>59. ・国内又は海外で、マネージしつつ、ワークライフバランスを重視しつつ・・・新しい商品を世の中に出して少しでも社会が良くなる手助けができればと思う。・幅広い経験。</p>
<p>60. 働き方：常に新しいことにチャレンジしている。これまでの経験・知識を基に、大きくやり方を変えるような全社的な仕事をする。必要なこと：50才台になるまでに、周囲に認められるようなアウトプットを出し信頼をえる。</p>
<p>61. あまり明確なビジョンが無い。</p>
<p>62. 主任級クラスになり、仕事を回していきたい。そのためにも多くのことを学ぶために出向等を行い、別の視点から自社を見てみたい。</p>
<p>63. エンジニアとして現役で活躍しながら、開発業務に携わりたいと考えている。また所属する集団の中でリーダーシップを発揮し、周囲へ好影響を与えられる様な働き方をしたい。エンジニアとしての視野を広げるため、現在の業務にて技術知識を伸ばしたい。また積極的に困難な課題へ取組むことで成長へ繋げたい。</p>
<p>64. 仕事とプライベートを両立できる働き方をしたい。働き方改革には賛成だが、現状は単純に時間の制限を入れているだけで、そのしわ寄せが管理職にいき、働き方の格差が広がるだけを感じる。仕事の仕組みを見直して、ムダの削減、効率的な仕事の進め方が必要と感じる。また、変化の激しい時代の中で、新しい技術・知識・概念に若い人だけではなく、ベテランの人もついていける仕組み作りが必要だと思う。自分の業務に自信が持てれば、効率も上がってバランスの良い働き方が実現できると思う。</p>
<p>65. ・同じ職場の方や部下が働きやすいと感じるよう、適切な指示と仕事量を与えられるようになりたい。(仕事が無い、必要とされていないと思うことが1番しんどいです)・若いうちにジョブローテや他部署との交換実習、トレニー等の異文化研修を経験することで、様々な環境を体感したりベンチマークする。働きやすい職場とは、仕事しやすい環境とは何なのか、良い先輩・上司とは、どんな人材かを若いうちから意識したり考えるように</p>

なる。・決まったデスクではなく、オープンスペースで働きたい。もっとクリエイティブな仕事ができそう。・在宅勤務制度を使いやすくしたり、特定の事業場で固定デスクの廃止を試験的に導入してみる。
66. 現認の必要が無い日は自宅で業務実施できる働き方。業務の量より質で評価される働き方。自宅で仕事可能なインフラ・納得出来る人事評価制度・安定した収入
67. 得られた知識、経験をもとに、コンサルティングのような働き方をしたい。そのためには、業務ローテーションを繰り返し行い、経験値を上げることが必要
68. ・社会貢献を実感できる働き方、仕事のテーマであること。・老後の不安（心理面、金銭面）を感じないこと。・仕事が楽しみに感じるような働き方。・今までの殻に閉じこもっていないで、新しい自己発見がある働き方。
69. 自分の求める収入に応じて、週3日労働するといった柔軟な働き方をしたい。例、週5日労働で年収500万円→週3日労働で年収300万円。あいた時間で自分の興味感心のある事で副業をして収入を得たい。
70. 元気に働くために健康状態に気を付けていきたいです。
71. 人を育てられる人間になり、人材育成に携わりたい。そのために、教えることができるような確かなスキルを身につけたい。
72. 現在より論理的に業務を遂行し、若年者への指導を行い育成する働き方をしたい。実現するためには、言語能力向上のため関連講習の受講をし、相手の立場に立って物事を思索し、後輩へ指導助言していくことが必要である。
73. 職場全体のふいんきが楽しく仕事ができるような環境を作っていきたい。そのためには自分のスキルをUPさせなければならない。
74. ・海外駐在により、グループ総合力を高める仕事に就きたい。・まずは日本の本社が実を刈り取れる実力をつけていることが必要。現状、中計に基づくマネジメントを掲げているが、目先の短い仕事の軸足がフラフラしている。私個人としては、上記の状況にあっても、力を養い少しでも成果のでるマネジメントを海外で実現したい。
75. 後輩、後継者を育成できる様なお手本となる働き方。上記をするために、専門技術の知見を広げ高める。
76. どのような働き方をしたいか？50歳代になるまでの過程で得た知識・技能・経験・人間力を活かし、リーダーあるいはアドバイザーとして組織を引っ張る仕事をしたい。その成果を人生における喜びのひとつとしたい。どのようなことが必要か？仕事を通じて得られる経験（失敗、成功）と知識、技能。勉強を通じて得る専門的知識及び幅広い教養。全ての経験を通じ高めた人間力。
77. 日々仕事に追われず、仕事の目標や課題を明確にして出戻り仕事が少ない働き方をしたい。そのために技術的なスキルも必要だがコミュニケーション能力を上げて相手の考えを少ない時間で理解することが必要と考えている。
78. ビジネストレンドや求められる能力が変わっても、戦力またはリーダーとして活躍できる働き方。時代の変化をしっかりと見極め、自分の仕事を客観的に見て、進化させることが必要。
79. 定時やわずかな残業で帰宅でき、家庭と両立できる働き方をしたい。そのためにデジタル、AIを活用したり、人件費以外の固定費を抑えつつ、ムリのない効率的な仕事の仕方が必要だと考える。他業種と比べ、自動車系は機密の考え方から？デジタル化が圧倒的に遅れているし、働き方も昔と抜本的に変わっていないと感じる。
80. ①アーリーリタイアして好きなことで生計を立てたい。②生計可能な分野の模索、貯蓄
81. ちょうど今、MBAを取得して、もっとチャレンジしたい気持ちと、自分の活躍の場は今の

<p>会社に限らずに考えたいと思うようになった。50歳までには、今やっているような“管理系”の仕事ではなく（正直つまらない）、戦略を立案・実行するタフアサイメントを経験して、50歳手前でキャリアチェンジまたは副業で幅を広げたい。働きながら学ぶ習慣はついたので、50歳・60歳以降も長く働くイメージで、必要な能力開発にはおしまず投資をしたい。ただし、週5フルタイム、のような固定的な働き方には魅力を感じない。ホワイトカラーと言いながらも、時間給のブルーカラー的な仕事もこなさないといけない状況からは早く抜け出したい。肩書き・会社名がなくても、自分の価値を感じてもらえる人になるのが目標。</p>
<p>82. 現在の50歳代の実施している業務を実施したい。そのためには今の業務を1つ1つこなし、必要性を理解しておくことが重要となる。</p>
<p>83. 若手が活発的に活躍できる職場づくり、仕組み作り。定期的な人材雇用及び育成が必要。</p>
<p>84. まずは元気なのが一番なので運動が必要だと思う。</p>
<p>85. マネジメントよりは、今まで通り第1線でプロジェクトに携わりつつ、次の世代の新しい価値感と自分の経験を融合して、若い人のキャリアアップに貢献できれば良いと思う。そのためには、まず健康であること、プライベートに不安が無いこと、仕事面では、コア技術を大事にしつつ、新しい経験を積み重ねていき、その分野で周囲からの信頼を得られるようになっていきたい。</p>
<p>86. 【専門知識と経験を活して会社の利益に貢献する業務を50%後進の育成の為、相談役としてチームの支援に回り若手を育てる50%合わせて定時+20H 残業程度の負荷】→その為には・チームリーダーの様な組織でアウトプットを作る業務を経験した上で・同類業務の5~10年程度経験付与。（ある道での一人者になれること）・指導者訓練、会社として後進を育てることに重きを置く、教え育て成長を早くする風土</p>
<p>87. ・より責任と裁量のある仕事をしたい。・経験、知識、精神力、権限が必要である。</p>
<p>88. 同じ職場の仲間と上下関係の少ない間柄で接し、頼り、頼られる働き方をしたい。相手に対する思いやりと、本音で話せる関係作りが必要。</p>
<p>89. 部下の業務状況やグループの業務状況を考え、業務の割り振り、またフォローを出来るようにする。そのために様々な業務を経験し、自分の引き出しを増やす。また自分の業務を計画的に実施し、回りの状況を確認出来るよう努力していく。</p>
<p>90. 50歳代になったとき、部の中でも重要なポジションにつき、責任ある仕事をしたい。また、プライベートの趣味、家族を大切に、いきいきとした生活をしたい。そのためには、今の仕事へ全力で取り組み、経験をつむことと、趣味を継続することが必要だと考えています。</p>
<p>91. 部下や若手がしっかりチャレンジしたり働きやすい環境を作れるような立場と働き方をしたい。知識やノウハウを蓄積し、それを伝えられる力が必要と思う。</p>
<p>92. 部下や後輩に頼られるような働き方をしたい。例えば、部下の仕事の進歩は会話のコミュニケーションの中で、はあくし、時折フォローできるようにすることや、他部署との調整や対得意先との対応は率先して動き、部下・後輩の働きやすい環境を整える。</p>
<p>93. ・マネジメントができる働き方をしたい。・周囲から認められる人間になることが必要。</p>
<p>94. ・会社の意思決定を担う役割・仕事に関わる幅広い知識を身につける必要があると思う。</p>
<p>95. 自分自身の意見をしっかりと持って、下位の方へ指導が出来る様にエビデンスを必ず残す。</p>
<p>96. 仕事と家族をバランス良く両立できる働き方をしたい。そのために自身の仕事のやり方を変えたり、テレワークの活用などにより、プライベートに時間を使えるようにする必要があると考える。</p>

97. ライフワークバランスの確立。重要な仕事、そうでない事としっかりと選別する。基本を大切に。
98. みんなに必要とされ、部下を持てるような存在。
99. 時間外作業があまり多くない職場で働きたいと思います。会社や社会にとって必要な作業であれば時間外労働もやむを得ないですが、仕事量が多すぎたり、人員が少なすぎる職場では、作業者の負担が大きく、働く意欲も失なわれてしまいます。自分の力量に合う、居住地から遠すぎない職場で、仕事も家庭も大事に意欲を持って働く事が必要だと思います。
100. ・家庭と仕事を今まで以上に両立した環境での働きがしたい。(ライフワークバランスをライフ主で働きたい)・在宅勤務の活用などで働きたい時に働く選択を増やしたい。実現には一人一人の業務負荷の低減を進める必要あり。(日本人は働きすぎ！)
101. 元気に楽しく働きたい。健康をキープする。現場に若い人が必要。
102. 明るく、楽しく、元気よく働きたい。健康が第1で必要だと思う。
103. 今より働く時間を半分にし、残りの半分は趣味の時間にあてる。その為に専門性とコミュニケーションスキルを上げ、個人で完結する仕事へシフトすることが必要だと考えている。
104. これまで仕事第一の生活をしてきたが、家族に対してもっと時間を割けるような働き方をしたい。そのためには、「やった方がいい仕事」をやめ、「やらなければならない仕事」に注力するよう意識チェンジが必要。
105. 高れい化が進む中で、介護や子育てなどにも充分理解のある職場であって欲しいと思い、私もその状況になった際に休み等が取得できればと思います。
106. 場所、時間に左右されない、働きたいときは働き、休むときは休むなど、自分で能動的に人生や行動を選択できる働き方や、周りが高いモチベーションで行動し結果を出すチームを作り周囲に刺激を与える働き方、お客様にとって、新たな価値創造に寄与し、出会いが価値となる働き方。その為に必要なこととして、明確な目標、なりたい姿を明確にすること、何事にも受身ではなく、自分から取り組む姿勢と圧倒的な行動。人の意見を素直に聞き勉強する姿勢。
107. 仕事に対して、異動などで業務内容が変わってもやりがいを持つことと思う。そのためには、どんなことでも前向きに取り組む姿勢であることとを感じる。
108. 納期に縛られない様な余裕に計画を作れる働き方。無理な日程を組まされない様なピリピリした緊迫感がない職場雰囲気。
109. 安定した働き方ができること。会社の体制。
110. ・長期目標での技術開発業務。・広く深い技術の習得。
111. ・ゼネラリストとして幅広い分野を管理できる働き方・そのために異分野への積極的なチャレンジ
112. 自分が楽しみながら仕事を行う事で、周囲の同僚、部下達も楽しみながら仕事をして頂きたい。常に新しいやり方や考え方を持つ事で活性化して行きたい。
113. 専門性を持った技術力を生かした働き方をしたい。幅広く、自業務以外からも学びながら、時代の変化に応じたニーズに応えられる知識と経験を得られることが必要。
114. ・周りの後輩に対し、何でも相談してもらえるようにコミュニケーションを大切にして働きたい。・いつも明るく仕事をする事が大切。
115. 責任感のある仕事をする。
116. 時間・場所にとらわれず、効率的な働き方をしたい。出身が九州であり、親の介護等に直面する可能性もあり、テレワーク等を十分に活用していきたい。

117. 常に会社、社会に貢献できる仕事に就き、責任ある立場で挑戦しつづけていく存在となり、後進を育てながら働いていきたい。そのためには世の中や会社を取り巻く環境の変化を洞察し、かつ組織における自身の役割を客観視して、現在～数年後にたずさわる業務を通じ成長すること、また尊敬を集める人材となっていく心がけが求められる。肉体的・精神的にも多少の無理がきくように自身をコントロールしていくことも必要と考える。
118. 未だイメージ出来てません。
119. 自分が培った知識等を後輩に伝えながら環境変化に臨機応変に対応出来る人材。
120. 仕事もプライベートも充実した働き方をしたい。残業などを減らし、限られた時間の中でアウトプットを出すことが必要。仕事の質を高めるためにも常に目標や目的を持って取り組みたい。そのような中で周りからも信頼されるようになれば嬉しい。
121. 今は事ム系だが、技術系で入社したので、現場で部下に技術を教える様な働き方をしたい。現場に戻る。
122. 場所や時間にとらわれず、成果を出し、生計に必要な給与を得たい。そのために、AI等の基本知識をそなえた上で、自分独自の専門技術を身につけることが必要だと思います。
123. どの様な時代になっても、適切な判断とマネジメントができるようになりたい。そのためには業務で様々な知識、経験を得ておくこと、社外・国外含め柔軟な思考を学ぶための交流を積極的に行う必要がある。また、仕事に注力できる健康づくりを意識した生活をすべきと考える。
124. ・周囲から信頼される存在として働く→知識や経験を身につけ、チームに共有したり助け合ったりする。・プライベートと両立し、仕事だけの生活にならない働き方→仕事の始まりと終わりを明確にする。1日の仕事をやりきれよう効率的に取り組む。
125. ・沢山の部下を束ね職場のリーダーとして活躍したい。・仕事と家庭を両立した働き方をを目指す。＜必要なこと＞・部下との良好な関係を築くためのコミュニケーション ・メリハリをつけた業務遂行や職場の理解獲得
126. 管理職として、職場の中心となり活発に働いていたい。ワーク・ライフバランスではなくライフ・ワークバランスを意識し、自身が模範となり、各々の生活と多様な働き方を尊重できる上司となっていきたいと思う。今まで仕事に時間を費していた。「仕事なんだから」と考えていた面を改め、まずは私自身の「ライフ」を充実させたい。50代になると、その後の働き方について考える（シニアになる等）必要がある。先輩方を見ていると、仕事も大切ではあるが、趣味など私生活はもっと大事と思う。
127. 自分の知識・経験を活かし、かつ、更にそれらを増やしていくことが出来る働き方を継続したい。年齢に関係なく働くことができる職場づくり。
128. 自分にしかできない仕事をやっていたい。
129. 自分の道は自分で選択したい。自分の望む業務を行ないたい。
130. 家庭との両立ができる働き方・時間の使い方（基幹職だったら、残業無制限・年休0という考え方の払拭）の意識を変えること・基幹職にも家庭があるけれど、早く帰ると周囲の組合員が裏で、早く帰ることを指摘しているような風習をなくすこと。
131. 今（それまで）の経験を括かし、後輩やGr.組織全体の競走力強化に努める。
132. プライベートを充実させた働きを行いたい。
133. 仕事も裁量があり、やり切り感と達成感を感じられる働き方をしたい。50才代になっても、専門性をベースに職場に貢献できるよう、今から磨く領域を定めて研鑽していく必要がある。
134. 後輩を助け、問題を解決できる様、導くことができるようになっていきたい。そのために

は、基礎を身につける必要があり、各業務の意味を考えていくことが必要だと思う。
135. 何事にも積極性を持ち取組む姿勢で働きたい。その為に、自身も常に成長と強い気持ちを持つ事と共に、同様の考えを持つ後輩、部下を育てていく事が必要。
136. 自らのおかれた状況とそのときの意思に即して働けるよう柔軟な働き方ができるとよい。例えば親の高齢化で介護が必要になったら、重い責任を伴う仕事は難しい。又、老後の生きがい探しを兼ね、新たなチャレンジがしたくなるかも知れない。そのためには、一時休職や新たな分野への転職が必要になるかも知れない。(本来は社会の労働流動性が高まり、再チャレンジしやすい仕掛けがあるといいのだが) 備えとして、貯金しておかねばならない、と感じている。
137. 残業を今よりも減らし、健康に配慮しながら家族との時間を増やしたいと考えています。その実現のためより効率よく働けるよう工夫しつつ、現在持っている仕事を次につないでいけるよう、人員の確保と育成を検討していきたいです。
138. 職場での勤務時間をへらし、余った時間を副業や自己啓発に費やしていきたい。働き方改革を進め、効率的に仕事を進めていく。
139. 部下に適切なアドバイスのできる。上司として管理的な業務を行い、管理する組織の成果を向上させたい。定時で退社し、家族との時間を十分に確保したい。
140. 頼られる働き方ができれば理想だと思う。経験や知識をたくわえることが必要だと思う。
141. 直近で異動したため、現部署での知識を深め、継続したいと思う。過去の部署で得られた仕事への臨み方などを伝達できる立場になる。現在の部署での業務を改善、効率化、標準化できる立場になる。現部署で知識を深めつつ、経験を活かして改善、標準化にとりくむ。専門的な分野より、しくみに関れる業務を行いたい、会社組織のあり方での対応が必要。
142. 主体性を持ち、チームや事業をけん引する能力とバイタリティを持っていること。目の前の課題のみではなく、数年後を見据えて判断出来るようになること。
143. ワークの比重を下げた働き方(生活費にとらわれない)。それを実現する為の十分な資金を確保。
144. 今現在私の上司の行っている働き方を見習いたいと思う。そのためには今の仕事を確実にやり経験をかさね、部下の目線になれるようにならなければならないと思う。
145. 若い人を成長させる為に役に立つ。働き方としては、必要な時だけ助言を与える、など若い人の仕事を邪魔しない事。若い内にいろんな部署で様々な経験をする事。
146. 会社に必要とされる役職に就いて、自分の影響力を強めていきたい。その為には、必要と上に思われる様な仕掛けが必要ではないかと、最近感じてきている。(残念ながら、今の組織では、ある程度は上を見ながら仕事をしないと、下や周囲に配慮しながらただ一生懸命に仕事をこなす、では足りない。)
147. 柔らかな働き方(時短、週3勤務、在宅など)子育てや介護がない人もつかえるようにすべき。
148. <働き方>過去の経験を生かして、仕事のアウトプットを最大化するために、マネジメントや後輩育成をしていきたい。<必要と思うこと>・これまでやこれから行う実務に対して、深く中身を理解すること。・自分の担当外の業務や知識、動向について、自ら学び情報を得ること。
149. 50歳代になる前に十分な知識と経験を重ね、それらをその時の若手や組織全体に残す仕事がしたい。そのために必要な事は①今の内に悩み、苦労し、学ぶ事、残す価値のあるものを身に付ける事。②一方的なコミュニケーションになうないよう、相手のレベルや思考をよく想像する事。③わかりやすい資料にまとめる力。④心身共に健康である事。

150. 周囲に尊敬されるリーダーとしての働き、自己研鑽と体力維持。
151. 自分の持っている知識、経験を次世代の人に伝える。つなげれる働き方・伝えるべき内容なのかどうか、本質を見極める感覚、思考をみがく。
152. 私が子供の時は毎日親と夕食をとり、よく話しもした。今現在は子供と夜、顔を合わせることはない。50歳代になったときと言わずいまからでも仕事の時間を減らし、プライベートの時間をもっと確保したい。子供には申し訳ないと思う。
153. もう少し自立して仕事がしたい。自分の業務以外にもチームの仕事を理解する。
154. ライフワークバランスを取って、自分の時間も大切にしながら、自分の技能を活かせる業務に向き合っていければいい。そのために仕事ではできるだけ多く、深い知識・技能を身につける。生活面では趣味や家庭などをより充実させることが大切だと思う。
155. もうすぐ50歳なので、特に今とかけ離れる働き方は考えていない。
156. 仕事にも休日にも充実感を覚える事のできる働き方。必要なこと：趣味・いきがいの獲得、休日の取りやすい環境、成果の見える仕事。
157. 若手といっしょに実務をやり、製品開発をする。メカ、電子回路、ソフトの知識を深める。社内のいろんな製品を知り製品知識を深める。
158. 自身が身に付けた能力を十分活かせる働き方、ゆとりのある働き方が良いと思う。ワークライフバランスが重要だと思う。
159. より多くの知識・経験をつんで、また、周りの人からの信頼を得て、それなりに上位な職につき、会社、事業部全体の経営に影響を与える重要な仕事をしたいと思っています。
160. いずれは管理職になりたい。もっと勉強や経験が必要
161. 年齢が上がると新しいことを覚えられなくなり、人の言うことも聞けなくなる。50歳をすぎても活躍し続けるためには今のうちに視野を広げ、ベースとなる技術を身につけておきたい。疲れやすくなるので、30代の残業より増えるような働き方はしたくない。
162. 仕事とプライベートの両立。将来の夢や希望を明確化する。
163. 自身の能力を最大限に発揮できる環境で会社に貢献し、部下などへの育成を通して働きやすい職場を作っていきたい。そのためにも常に目標意識を持って働いていくことが必要だと思う。
164. 会社のルールが原因で自由に働けなくなることがないようにしたい。(育児・介護で職場を離れても、柔軟に働けるようにしてほしい。現状ルールはあっても、限定的であり活用できない。)
165. 自分の経験したことを会社のメンバーに伝え、職場力を高めていけるような形で貢献していきたい。子供達も50歳代の頃には大学生になっていき自立していくので自分の時間が増えていくので、自分の時間を有意義に使えるように、趣味を増やしていきたい。
166. 後輩達から信頼され見本となれる様な働き方をしたい。組織として最大のアウトプットを出す手段を身につける。
167. 世の中の多くの人を助けたり、若い人(子供を含め)を成長させるような働き方をしたい。困っている人同士をwin-winの関係になるように導いたり、自分の実体験を若い人に伝えたりすることが必要だと思う。
168. 部下、後輩へ業務の悩みや相談を聞いてあげられるようになりたい。そのために現在、知識・経験の習得に励んでいる。
169. 上司に判断してもらうのではなく、自分が判断出来るような働き方をしたい。仕事だけでなく家庭を大事にし、公私混同せずに働きたい。論理的思考能力が最も必要であり、部下からの意見に対し、合理的に応答出来るようにならなければならない。家庭を大事に

<p>するため、プライベートの時間も見つけ、家族と一緒にいれることを増やす必要がある。</p>
<p>170. これまでの会社生活で得た知識や経験を活かして仕事ができる。また、得た知識や経験を後輩へ伝承していきたい。そのために、色々な業務を担当し、経験をつむこと。広く深く知識を身につけることが必要だと考えています。</p>
<p>171. もう少し自分の時間が持てる働き方。チーム力の向上(多能工化)若手メンバーの意識改革(“言われたからやる”ではなく“自分がしたくてやる”への動機付け)</p>
<p>172. 周りから信頼され、周りに正しい指示を出せるような人材になりたい。部下を持ち、部下が正しい判断や行動が起こるようになるように日々接し、部下の責任を取れるような仕事の進め方をしたい。こういった働き方をする為、正しい知識を持てるよう日々勉強し、反省から学ぶ事を常に心掛けることが大事だと感じます。</p>
<p>173. 自分の得意分野を発揮できる働き方をしたい。</p>
<p>174. いつまでも会社・社会に貢献できると実感できる働き方。自分の成長を実感しながら若手へ知識・経験を伝承していく事も平行して実践するのが望ましい。役立っている実感。各個人が役立っている事を感じられる組織・雰囲気づくりが必要。</p>
<p>175. 自分の指示で動く部下がいる→信頼されて出世する。定時で帰る→迅速に業務を処理する。十分な給料→信頼されて出世する。</p>
<p>176. 体を使わない仕事内容が良い。エクセル等パソコンについての知識を身に付ける。</p>
<p>177. 自分のそれまでのキャリア・専門性を生かしてその分野におけるマネジメントの立場で仕事をしたい。そのためには、今よりも広い分野での知識の習得が必要だと思う。</p>
<p>178. 働き方に変わりはないと思いますが、将来の健康も大事かと。</p>
<p>179. 後進育成。技能が低下しない様、日々磨き続ける。常日頃のコミュニケーションを図る。</p>
<p>180. 自分にしか出来ない様な仕事を身につけたい。部下・同僚から信頼される仕事をしたい。</p>
<p>181. 理想は子供が家を出る50代では早期退職したい。無理だとしても負荷を減らしながら仕事以外の人生を楽しめるようになってほしい。全員が65才まで100%働くのではなくもっと低年齢から80%労働などのコースを選べるようになってほしいのでは?</p>
<p>182. 所属長になりたい。もっと信頼をさせることが必要だと思います。</p>
<p>183. 現状と同様にじゅうなんに働けるよう、日々勉強を重ねついていけるようにしなければいけないと思っている。</p>
<p>184. 50歳代になったときに、今のように仕事を遂行していくと同時に、後輩も育成し、変化が加速している世の中に遅れないようにつねに勉強をつづけ、また仕事に活用していくような働き方。実現するためには、新しいことを勉強するための時間づくりや激励体制があればなお良い。</p>
<p>185. 自分が束ねる組織(チームやグループ)を持っており、会社の方針に向かって貢献している働き方をしていきたい。その為には、業務の高度な専門知識を身に付けていき、専門的な業務アドバイスまで実施出来るチームマネジメント力を養う必要がある。</p>
<p>186. 風通しよくなんでも話や相談できる環境がよい為、仕事だけの話ではなく、プライベートの話など気軽に喋りかけられるようにしたい。</p>
<p>187. 特に望む働き方はありません。現状で満足しています。</p>
<p>188. 50歳になった時に、どのような働き方になるのか、はかれない。今のままだと思う。また違うことも有りだと思う。</p>
<p>189. 思いつきません。仕事が変われば、対応できるようにしなければならないと思う。</p>
<p>190. ①ロケーションにとらわれずどこでも仕事ができる(毎日出社する必要がない)②1社にとどまらず、複数会社でのPJTを業務。そのためには、社会全体の意識改革と人事評価制度の抜本的な見直しが必要。</p>

191. 自らの知識と経験を生かし、今の会社だけではなく複数の企業、あるいは企業に限らず個人に対してなど、色々な係わりの中で仕事をしたい。副業の解禁、社会保障制度の改革、人材の流動性の促進テレワークの促進、企業間での人材の交流、個々個人の主体的なキャリア形成
192. 組織（会社）に依存しない働き方、個人として市場から評価され、自分の所属先は自分で選ぶことができる状態。（会社に属するか独立するかも含めた選択肢を持っている状態）そのために、常に市場（社外）でも通用する仕事ができているかを意識し、また常に自分の知識をアップデートしていく（学び直していく）必要がある。
193. 過去の業務経験にとらわれず、新しい業務にチャレンジしたい。具体的には、グローバルな企業に属しているので、グローバルな場で自分がどこまで成長できるか取り組んでみたい。そのためには、自分自身の前向きな行動はもちろん、会社としても、50歳代でやる気のある人材が新しい業務にチャレンジできる環境に改善する必要がある。さらには、現在の業務を引き継がなければならず、職場の利解、後任の人材が必要。
194. 業務プロセス改革を実施し変革を主導できる。改革手法と共に、プレゼン能力が必要。

50歳未満マネジャー職の回答（主な回答を抜粋して掲載）

1. ・安定した収入を得られる働き方がしたい。・期待に応える、活躍をしつづけることが必要。
2. 自分の時間を持てる生き活きとした働き方をしたい。残業を減らす努力が必要。
3. ・一歩引いた立ち位置からこれまでの経験に基づく冷静な判断をし、職場を正しい方向に導くマネジメントができればと思う。・そのためには、若い人達を中心となって職場のあるべき方向に進んで行けるような体制（管理職の若返り）が必要。
4. 人材育成できるスキルを身につけ、残業なく働けるぐらい余裕を持った働き方ができるようになりたい。（部下を育成し個々に自立して業務できるようにする）
5. 知識と経験を純粋に受けとめてもらえ、それを活かしてもらえ環境下で指導に専念でき、結果も出し、それを認めてもらえる様な、環境で働きたい。個人の思惑や、私利私欲やエゴや悪口のない、建設的でそれぞれ尊重し合える人材への入れ替え。ずっと同じ事業部しかいない人は、全員他へ。この部しか知らない人で凝り固まっていないか。会社の基本を無視して、いつか大変なことにならないか心配であるし、変えようにも、理解がない。短期目線でせまい視野で良いのか。金だけ入れれば良いのか、品質至上のアイシン精機の人間か。有る物を売るだけの人がえらいのか。
6. 仕事とプライベートで充実感を得ながら働いていたい。仕事の能力向上にいい意味で割切った考えをする。
7. 信頼してもらえるように自分の仕事を自己啓発していきたい。
8. ・プライベートの時間も確保できる働き方。心身ともに健康な状態で働ける。・メンバーの育成とモチベーション向上、業務の効率化と管理レベルの向上
9. ・仕事とプライベートの時間的バランスが取れた働き方・仕事から完全に離れられる状況が必要と考える。（常に携帯端末を持ち歩き、頻りにチェックせずに過ごす環境）
10. 今までのスキル・知識の活用に加え、個人として興味（趣味知的好奇心）のあることに絡らんだ働きをしたい。その分野で貢献する。
11. 30代の主任級に負けないアウトプットが出せる人材でありたい。更なるスキルを習得。
12. 仕事とプライベートをバランス良く楽しめる働き方。仕事の効率化／知識・スキルの習

得、自分の興味関心がある事への挑戦。
13. 基本的に定時で仕事を片付け、自分の時間が持てるゆとりのある働き方。仕事と自分のやりたい事（今は特に見つからないが）を両立し、日々楽しくいきいきと生活し、部下、後輩から憧れられる働き方にしていけないと、魅力のない上司になってしまうと懸念している。より効率良く仕事していく必要があるので、ITを採用していきたい。
14. 自分のやりたい事を突詰めて、人類の歩みを一歩進めるような働き方をしたいと思う。そのためにはまず、携わりたい宇宙関連の仕事の最終目標を設定し、そこに向かうためのマイルストーンを自分の年齢毎に設定する。その後自分の出来ることと、やりたい事を整理し、他の人を巻き込んでそれを実現することが必要だと思う。
15. ・自分がいる部署にて、必要とされる、されていることが実感できることが大事だと思います。ある程度メンバーがいて、チームで業務を推進できるような働き方ができればと思います。・自らの専門性、できる事を増やし、活躍できる場所を増やしておくこと。若い人達のITスキル、その他能力にもついて行けるよう、必要なスキル習得、などの勉強は必要だと思います。・周囲の人の配慮も必要かと思います。
16. 50歳代は体力の衰えを軽く考えず、今の働き方にこだわらずに若い人に道を譲る選択をする。その為に今、出来る限り変革を起こすこと、人の育成に力を尽くす。結果として別の職業に就くかボランティアとして社会に貢献できる道が拓けると考えている。どのような未来がよいか、いろいろな個性の人、外国人、男女問わず生きやすい社会を思い描き感応力をあげておきたい。アンテナをたてておく必要があると思います。
17. 肩書や立場ではなく、1人の人間として社会から必要とされていると実感できる働き方をしたい。そのためには部下や周囲の人と信頼関係を築くこと。また、自信が持てる得意分野を持つておくこと。会社にしがみつくのではなく、適度な距離感を持つこと。そのために副業が持てるといいナ～と思います。（精神的にも経済的にも自立した状態をつくっておく）
18. もうすこし仕事でも家庭でもゆとりを持って過ごせたら…と思います。今は仕事も慣れない分野で余裕がないし、子どもが小さく、WLBも保てていません。時が解決してくれるものも多分ありますが、生産性を自ら上げていけるスキルやアイデアを身につける必要あります。
19. 働き方：自分がそれまでに経験し、身に付けた知識、能力を発揮できる業務（マネジメント、実務、人材育成）に携わり、自らも学び成長したい。また、より大きな影響力を持って会社、社会貢献、従業員を幸せにできる範囲を広げたい。家庭との両立もしたい（時間的に）必要なこと：日々チャレンジして、ひとつずつ課題をクリアして、レベルアップしていくことが必要と考える。（マネジメント、人間関係、技能、実績等）また、今から家庭との両立を進めていく（業務見直、環境整備）必要がある。
20. ・過去の経験、ストックで仕事をする人間ではなく、未経験の領域・スキルを得て、能力向上し続ける人材でありつづけられるような働き方をしたい。・そのために必要なこと。健康…体力は確実に落ちるので、強化トレーニングを自ら実施する事に加えて、30・40代ほどのハードワーク（時間こうそく）を会社側は求めない事。承認…自らの経験（歴史）を否定されることはつらいという感情が先に出て、新しい未経験領域に踏み出す障害となりかねない。経験への承認に一定レベル必要。
21. まだ自分の中で明確に考えることができていないです。今後ゆっくり考えていくつもりです。
22. 仲間に信頼される人間になり、アドバイスができるようになっていきたい。そのためには多くの経験がまだ必要であると思う。

23. 専門知識を活かしプロとして働きたい。自分の強みをより高める職域で活やくしたい。
24. 自らがもっと成長していけるような働き方。それが恩返しであり、持続的な会社の発展につながる。社員の多様性を認め、チャレンジを推し進め、失敗からの学びを次へ生かすことをヨシとする会社の風土。
25. ・場所・時間に束縛されない働き方。IT活用や社内ルールの見直しが必要。・自由に使える時間を増やし、私生活や、後進の育成に充てたい。
26. 生活できればよい。
27. 後進を育成し将来にわたって持続可能な職場をつくっていくことに貢献したい。そのためには落ちついた環境で資料を整理し、講習の場を設ける等、業務に専念できる状態が必要と考える。
28. 仕事と家族の時間を均等に確保できるように効率的に働きたい。自分のやってきた事を部下へ伝承育成することで自分がもっと広く高い、視野で仕事を進めていくことによって、効率化を図れると思います。
29. 仕事と家庭の両立、仕事の充実感として効率を追求した10割以上の業務量によるやらせられた感ではなく、7割の業務量と3割の付加価値業務（裁量）による達成感の感じられる職場が必要。家族と食事ができる時間に帰宅し、業務の残りは在宅勤務。
30. 技術職のマネージャーや、プレーヤー。どちらかを選ぶとしたら、技術を生かせる方。実現するためには、現在のマネージャーだけ生活ではなく、少しでもプレーヤーとして仕事する時間を確保することが必要。今は少しだけやれている。(2~3hr/week) 大変だけど続けていきたい。
31. 時間的にはもっと短時間。自分の意識改革
32. 自分自身がやりがいを感じながら、周囲のメンバーが目標としてくれるような働き方ができればと思います。そのためには、現状に満足せず、日々成長しつづけられる様、努力すること。がむしゃらにやる部分と、家族やプライベートとのメリハリをつけながら持続できるバランスをつかむことが大切だと思います。
33. 年代についての要望は特に無し。社員全員、残業が無い働き方がしたいです。効率を向上することにより、会社の業績を上げることにより残業0を達成する。
34. ワークライフバランスの実現
35. 最前線で働きたい、そのために、今に甘んじず、常に精進する。
36. やりがいを持って働きたい。その為には自分の持っている能力を把握しそれを活かせる職場へ異動する。年レイ的(49才)に新しい事を覚えるのは難しいので、今持っているものを活力すべき自分の持っている生産技術分野の知識やスキルを最大限活かせる職場へ異動する。
37. 自身の現職場でのポジションを考えた場合、50代に向けてステップアップを考えてより積極的に業務に取り組むか、あるいは現状を維持しながらの働き方をするか悩んでいます。子育てが一段落しようとしている中で、自身の時間を会社に向けるか、私生活に向けるかですが、現状では私生活(社会生活、趣味等)に時間を割きたいと思っています。
38. 50代は目の前までできており、今の働き方を急に変えることは正直、難しいところがあるが、ワークライフバランスを意識して、少しずつでも意識を変えていかなければならないと思う。自分の様なマネージャー職が率先して部下に指し示すことも必要なことは理解している。
39. 自分の経験を生かせるのが理想そのためには知識・経験のアップデート、リバイズを積極的に行っていくことが重要と考えている。
40. 会社への貢献はこれまで以上のポジションで、より積極的に行ないたい、と思う反面、家

<p>庭、家族を大事にしたい、と考えている。また、実の親の介護が発生するかもしれない、それに備えた働き方が出来ることが望まれる。そのためには通算で10年目となる単身赴任の解消や、地元での勤務がいずれかのタイミングで実現できると良いと思う。</p>
<p>41. 上司、部下から信頼される人材であり、会社に貢献できる働き方をしたい。その為にも日々チャレンジやコミュニケーションが必要だと思う。</p>
<p>42. 経済的な自由をすでに得ており、お金ではなく自身の健康や社会に貢献することを目的とした働き方をしたい。</p>
<p>43. ・マネージャーとして、一人前になりたい。(今の会社だけでなく他社でも通用するマネージャー)・仕事に全てを捧げるのではなく、プライベートも充実させながら働きたい。・会社の制度としては、評価軸の変更、(総量評価→時間あたり評価)が必要。・個人としては、独立できるぐらいのスキルと自信が必要。</p>
<p>44. ・時間や量をこなす仕事、マネジメントではなく、自分だけが有する知見を発揮して、業務の前さばき、上流で仕事を整えるところでの活躍、社内に限らず社外の業界との連携等、クルマ社会をリードできる人材として、勤務はなるべく遅くなり過ぎない20時までには退社、日々、リフレッシュできる軽度な運動や読書の時間を確保したい。・そのためには、現在、GM業のマネジメントで半分以上を費やしているが、もっと専門性を身につける実務への入り込み、研鑽をしなければならない。</p>
<p>45. 自身が経験してきた事を若手・次の世代を担う人材に継承できるような立場・役割が良いと思います。その為には、各人の強みとなるスキル領域を若い時期から明確にする事が重要、と考えます。</p>
<p>46. 職場をリードし、会社に貢献していると周囲からも認められる存在としていながら、家庭の時間もきちんと取れるような働き方をしたい。その為に必要なのは、自己研鑽による能力向上/生産性向上と、深く広い事業に関する知識の習得と、公私の上手な切り替えができる心の余裕かと。</p>
<p>47. ・ワークライフバランスのとれた働き方に変えていきたい。仕事だけでなく趣味を持って退職後の事を考えていきたい。・業務時間の1日の最長を規制して強制的に区切らないと長時間労働は無くならないと考えます。</p>
<p>48. ・会社の部下をひっぱる働き方 ・マネジメントをしっかりと学ぶ!</p>
<p>49. 残業時間を減らして、趣味や家族に時間を使いたい。メンバーの底上げし、次のリーダーの中核となる人物を育てる。</p>
<p>50. 自分のノウハウを会社に半分、それ以外に半分使いながら会社以外でも役に立ちたい。お金よりも必要とされている仕事をやりたい。家や家族の時間をもっととれているといい。時間におわれず、のんびりすごしたい。</p>
<p>51. 場所や時間に縛られない働き方。交代で自己研鑽のため休みを取り(例:1週間/半年)メンバーが生き生きと働き、チームワークのある職場を作る。・事務所以外で仕事ができる環境と文化の醸成・業務の標準化・人材の育成が必要</p>
<p>52. 今までの経験を後輩に伝えたい。</p>
<p>53. 若手育成の場で若い新しい知見を過去の実績をもって支援できる立場が必要だと思う。そのためには一つでも成功体験をベースにしたコア技術/業務分野の明確化が必要ではないだろうか。</p>
<p>54. 海外事業体等で、現地での経営に関わる仕事をしたい。又、家族とともに、海外生活を体験し、価値観を広めたい。そのために、今は、現在の仕事での経験の幅を広げることが必要と考えている。</p>
<p>55. 健康と家族の幸せのために、無理せず働きたい。</p>

56.	管理職として、プロジェクトやチームのマネージメントを上手にこなせる様になっている。その為に、今は小さなチームで行っている業務や後輩育成のスキルアップを身に付けていく必要があると思っている。
57.	今までの経験、キャリアを生かし、世代交代をし、一線（リーダー）から退き、更なる職場環境や業務の改善・部下への人材育成を行っていきたい。特に、次世代を担う人材の育成に力をそそぐことにより、継続的に成長できる職場の基盤づくりを築きたい。
58.	50代になっても40代と大きく考えが変わることはないかなと想像しますが、年代に関わらず、仕事もプライベートを充実できる働き方をしたいと思います。そのためには生産現場以外でも仕事の生産性をあげることで、少ない時間やコストで同じ価値を産むための改善をすることが必要だと思います。そのようにして、余った時間をより価値の高い仕事やプライベートの時間に回せるのではと思います。
59.	これまでに蓄積したスキルを活かし、職場に貢献したい。過去の手法にこだわるのではなく柔軟な発想で新たなチャレンジをしていくことが大切であることから、若手の意見を傾聴し、よいアイデアは積極的に取り入れていく必要がある。
60.	50代になっても、今と特別働き方が変わるイメージがわからない。
61.	部下へのマネジメント（フォロー）が確実にでき判断ができるよう、今から働き方にメリハリを付け、限られた時間の中で、チームとして成果が上げられるよう、部下を育てていく事が重要。
62.	定年（何歳になろうか・65?70?）まで、モチベーションを維持できる働き方がしたい。そのためには、自らも、他からも認められる仕事、立場がほしい。
63.	仕事と趣味の両立ができる働き方を実現したい。そのためには、仕事に対して良い意味で割り切りの心を持つことが重要だと考えています。
64.	会社の中で経験や知識を活かして貢献していきたい。できれば、その影響力をより発揮できるポストに就任していきたい。仕事の仲間と仕事以外でも交流が持てるような関係をできる限り多くつくりたい。家庭・仕事・趣味のバランスを保ち健康に過ごしていきたい。そのためには、仕事に対しては継続して真摯にとりくむ。職場や社外の方とも信頼関係を構築することを心がける。仕事だけの生活にならないよう心がける。
65.	・今と変わらず活気ある職場で楽しく働きたい。・健康管理とライフワークバランスの充実
66.	<働き方>・夜は早めに帰宅し、家族との時間を増やす。<必要なこと>・業務改廃、人材育成
67.	自己実現の為に責任あるポジションで頑張りたいと思うと同時に、若い世代に自らの経験や知識を伝え、育成することに力を入れたいと思う。海外や他部門での経験や知識、社外の方々とのネットワークづくりも必要だと感じている。
68.	技術職のため、部下がいるいないに関わらず、技術で若い人にとって頼れる存在となっていたい。実作業の面では（恐らく）作業スピードが若い人より劣るため、DRやジャッジする場で貢献できる人材、働き方をしたいと思う。必要な事は、技術を身に着ける事、論理的思考に加え、誰とでも協力関係を構築できる人間力を磨く事が重要だと思う。
69.	自分の身につけた専門知識を生かした仕事をしたい。ただし実務ではなく管理者の立場で、判断をできるような。また残業時間は月20H以下でできるボリューム。そのためには、まず組織として適正な仕事ボリュームを適正な人数の割り振れるように、業務内容をきちんと把握する。そして組織構成をそれに合わせて柔軟に変えられるように。またそれに個人がついていけるように、今以上に専門知識や、責任感を身につけていくことが必要と考える。

70. 転職を含めた人生設計。
71. 自分の経験を生かして、組織で管理し、若手に対し、経験を上手く、伝授し又逆に新しい発想を取り入れて、新旧の良い所兼ね備えた、新しい組織を作っていく、その為には常に新しい事を学ぶ、若い人の意見を聞き、冷静に判断する、等の姿勢を持つようにする。
72. 働き方や会社でやりたい事を個人が意思表示できる仕組みが欲しい。会社の特定の人が決めた事だけをやって、世の中の動きにはついていけないと思う。多様性を認めるかどうかではなく、多様性を吸い上げる仕組みが弱い。CASEに限らず、最先端の技術に対して会社が疎い様に感じる。将来に対する創造力が他社に比べ不足していると思う。
73. アラフィフのため、「50歳代」が目前なので、現状の働き方を継続するイメージですが、恐らく後一回ぐらいはあるであろう異動に向けて、自身の知識の範囲を上げられるよう、情報収集のアンテナを高くしておかねばと思います。
74. 現職場で得た知識、技術を、他の領域で生かし、他領域の Breaththrough につなげたい。その為に、他領域へ計画的に異動し、価値を分かってもらえる様な周囲への情報展開が必要。
75. 周囲から必要とされる存在として認知されている状態で働きたい。役職や責任の有無にはこだわらず、一個人として尊重されている状態であれば良い。実現の為には、技術力の向上はもちろんのこと、人としての人間力を磨く事が不可欠だと思う。50歳代までの残された年月で、人としてもう一回り成長できるように日々を大切にすることが必要。
76. ・経営・経営的な目線を学ぶこと
77. ・優秀なメンバーのみで効率良く働く。・優秀ではないメンバーの切捨て。
78. 50歳代から新しくとりくむことをはじめ、学ぶことの大切さを認識したい。また、今までつちかってきたスキルはメンバー、後輩へ伝え、グループ全体の知識レベルの底上げをはかりたい。社外の話の聞いたり、新しい語学を修得したりして、自分自身に新たな刺激があれば、また新たな発想も出てくると思う。
79. 70才まで、働けるような仕事をやっていきたい。その為には、今の仕事にとらわれず、あらゆる世の中の仕事を知る努力が必要
80. 様々な人や組織と関わりながら、付加価値の高い製品開発の中心的な役割を果たす。←博士や技術師の資格を取得する or 会社の中で常に頼られる存在であり続けることが必要。もしくは、実家で畑仕事をしながら私塾を起業する。←地域コミュニティとのネットワーク作り、事業経営の知識
81. 世界中の技術者と、海外出張してディスカッションし、たくさんの部下からも信頼されるような働き方をしたい。そのために、英語の勉強や、海外駐在経験を持ちたい。常に仕事に手を抜かず、全力で取りくむ。いつも謙虚で部下やサプライヤからも信頼される。積極的にすごい人から知識や働き方を吸収する。プロ意識をもつ。矢おもてにたつ。部下を守る。
82. 50歳台になっても今と同じ職場・機械の設計業に携わってほしい。そのためにはビジョンを持ち、固有技術力を上げていくことが必要だと思います。
83. ・想いが近い人達と良い仕事をしつつけている。・いろいろな人とのつながりを大切にしている。
84. プロフェッショナルリティを持って、組織の一員としてミッションに取り組む。プロジェクトの立ち上げ。プロフェッショナルリティの確立。
85. ☆自己研鑽を重ね知見を広げ続ける。(率先垂範する) ☆年上、年下の関係なく、部下(直属、他Gとも)の育成に努め、成果を出すために良い導きを続ける。☆今以上に、相手の立場、目線で考え、行動できるようになる。⇒会社でのすべてを、自分を鍛えるための試

<p>練として耐え、学びにする。(前頁までに手記した部分等) ⇒耐えられないことも有るかもしれないので、心の支えとなる家族を大切に、リフレッシュもしっかりとる。</p>
<p>86. 技術者として、「決める・判断する」ことが出来る立場で働きたい。自分が必要とされていることを実感できると思うので。意見するだけ、とかの決定権の無い立場では働きたくありません。偉いとかそういうことではなく。そういう意味では年功序列ではない方が年を取ってもやりがいを感じられるのではないかと感じます。設計の実務で構造検討する 50 代がいても良いと思いますし、その上司が 40 才でも、あくまで仕事上の立場でしかないのです。一度実務を離れてしまうと戻るのは大変なので、日本の会社の構造だったりイメージを長い時間がかかるかもしれませんが変えて、現場に居続ける選択も受け入れやすいようにしていくのでは。</p>
<p>87. 組織として分業がされていて、やり直し等のムダ作業の無い職場で働きたい。そのためにも教育（ペア制による OJT）を実施することで上下の信頼関係を築けるよう心がける。</p>
<p>88. これまでの経験や知識を活かしてプレイヤーとして又、後進へそのノウハウを伝える役目になりたい。職場で尊重される事、お互いに認めあい、受容し受け入れられる事が必要。</p>
<p>89. これまでの知見と経験を活かす仕事または直接的には活かすことができなくても業務の幅を広げることができればと思います。</p>
<p>90. 時間的、環境的に無理のない働き方をしたい。家庭や定年後を見据えた趣味などプライベートの充実を図りたい。そのためには、より若い世代が主導権をもった会社が必要であり、50 代以降は、働き方を選択できる仕組みも必要だと思う。</p>
<p>91. 50 才台は必要とされる人とそうでない人が明確に分かれやすい年代。自分が 50 才台になった時、必要とされる場合はそのまま働きたいが、そうでない場合は第二の人生を歩める様になりたい。(誰からも必要とされず、「生活のため」と会社にしがみつこうとする行為は自分も周囲も不幸になると考えている) 上記を実現する為には常に自身を向上させる姿勢と努力。と必要とされない場合、新たな方向に思い切れる様に、経済的余裕が必要。</p>
<p>92. 裁量が有り、世の中の技術や、事業動向と会社・事業戦略の両者に精通し、事業部の壁を越えた働き方を望む。その為には、社中外の環境変化にアンテナをはり、論理的思考で関係者を巻き込む力が必要。</p>
<p>93. ・自分自身でも新しい目標を立ててそれにチャレンジしていく姿勢。・技術面では若手エンジニアに仕事の進め方や考え方の良い点を伝えていきたい。</p>
<p>94. 自らの専門性を生かした業務。現在の部署であれば、そのまま室長や部長としてより高い視点をもった業務（主にマネジメント業務）。その場合は管理スパンも当然広がるので、実務は原則なく、日常業務は GM 以下に任せ、職位に応じた他部署との調整、部署としての方向性を決定していくような業務。後進の育成が急務。</p>
<p>95. 自己のたくわえたスキルを有効に使っていききたい。それまでにスキルのレベル up。人間関係の構築は大事。また自己のけいけんを活かし、部下の育成にも従事したい。やはり 40 代のうちに自分で出来る事はどんどんすべきと考えている。</p>
<p>96. 自分の存在意義が理解できる（認識できる）働き方（仕事）をしたい。このためには自分という人間をさらけ出し、まわりに上手に利用してもらうことが必要だと思う。</p>
<p>97. 自分らしく、これまでの自分の経験を十分に活かせる仕事をしていきたい。そのためには、50 歳代になるまで、自分の仕事の真の目的をしっかり理解し、やりきることが重要。50 歳になって、「40 代はよく頑張った」と思える自分でありたい。</p>
<p>98. 価値観を時代に合わせて変える力を身につけ、少しでも挑戦を続ける人材になりたい。</p>
<p>99. 前半はリーダーとして業務全般をとりまとめる、しくみをつくる。後半は担当者として</p>

<p>実務を復活・専念。妻とのコミュニケーション、両親の介護の可能性。 いろいろな人達と接しながら、課題を共有し、解決する。頼り頼られながらの人間関係を日常でつくっていく。</p>
<p>100. ・部下や周囲のメンバーに助言や指示出して動いてもらいながら、自分の手も動かして開発等の業務を進めていく働き方が良いのではと思います。・その人が持っているスキルを活かせる業務への割当て、もしくは、その人が希望する業務への割り当てをすることにより、これまでの経験を活かして前向きに取り組むことが出来るのではと思います。</p>
<p>101. 今まで得た知識や経験によって得た技術を海外事業体のトップとなり。その事業体の社員全員に伝承していきたい。そのために、知識や技術だけでなく、経営的視点も身に付けられるよう、目の前の業務だけでなく、俯瞰できる力を磨いていけるようにしたい。</p>
<p>102. 現場の第一線担当者ではなく、余裕を持って広い視野で全体を見ることが出来る立場で、組織やプロジェクト運営の課題を見つけ、過去へ経験を活かして改善提案の立案・推進する働き方。実現のためには、そのような役職の設定および権限が必要。自社だけでなく、関係会社の改善でも良い。</p>
<p>103. ・年齢の若い部下をしっかりと指導しつつ、経験及び培った人脈を生かし、職場でリーダーを支えるような働き方・“今に応じた働き方”を受け入れ、部下の意識とズレのない働き方を進める。新たな仕事のツールを習得する。</p>
<p>104. 今までの経験が活かせる働き方。マネージャーでなければ、プロジェクトの一担当として機能を代表して活躍できる。そのために他性能を両立できる提案力をもつことが必要。今からでは難しいが設計に修業派遣のような体験をすることで、能力を獲得できないかと思う。</p>
<p>105. 今以上に早く決済できるシステムにしていきたい。ITをもっと活用し、いつでもどこでも、誰とでもつながれる様なシステムや体制づくりが必要と考える。</p>
<p>106. 楽しく働く。自分の自己実現</p>
<p>107. 年齢に合ったメリハリある働き方＝つまり、今のように長時間、目いっぱい働くのではなく、効率的に部下を使いながら働きたい。仕事の経験を生かしていける内容。健康と両立させたい。その為には、管理者とプレイヤーの役割分担の明確化が必要。目上の人を敬う事も重要。50歳台の人を尊敬できる様な仕事があれば良いと思う。</p>
<p>108. 管理職としてのマネジメント、リーダーシップ力と、専門分野のスキルを持ち合わせる事により、幅広い分野で、付加価値を發揮できる。その為の自己啓発が日々必要。</p>
<p>109. ・社会人の集大成として、それまでに培った知識や経験を後輩にしっかりと伝えていくことができる環境で、のびのびと働きたい。・年次に関係なく、気軽に先輩と後輩がコミュニケーションを図れる職場環境、50歳代の自分にとってカベをつくらずにコミュニケーションが図れる上司との関係が必要。</p>
<p>110. 若手に迷惑にならない程度に給料に見合う仕事量と組織のバランスを見ながら働いていく。そのために、上司、同僚が望んでいるものをしっかり認識した上で働くことが必要と思う。一方、中途半端に出世した場合、その地位を守るために働くのでなく、自分のやりたいことを実現していきたい。</p>
<p>111. チームの職責を、チーム一丸となって全うしたい。現在の業務内容に関する知識を深め、チーム内のコミュニケーションを深める。</p>
<p>112. ある程度大きな権限と責任を持ちつつも、時間的には若干ゆとりのある中で仕事を進めたい。その為には、今はがむしゃらに働き、知識と技術を身につけておく必要があると考える。また、上司、部下とのつながりもしっかり築いておきたい。</p>
<p>113. 自分の得意とする職業、職場で働きたい。コストダウンや日々かいぜん活動に取り組ん</p>

<p>であり、多様な人財が必要な時代において若年層が将来にわたり楽しく会社生活がおくれるために努力してあげたい。50代後半には、新たに趣味を活かし、自宅から近い職場で新たな仕事に従事してみたい。あまり自分の存在価値を考えず気軽な職種につき、老後に向け充実した生活を送りたい。</p>
<p>114. ライフワークバランスのとれた仕事・業ムの改善および効率化を更らに進める。・残業の上限を下げる。(残業無しでやれる環境)</p>
<p>115. 自分の判断で人、物、金を活用し、新しい事にチャレンジをするチームを動かせる立場にありたい。</p>
<p>116. 海外のマネジャーとして仕事をしたい。その為には人脈づくりと自己研鑽。</p>
<p>117. <働き方>これまでの会社生活で得た知識や経験を次世代につなぐことを念頭に置きながら仕事をしたいと考えている。<必要なこと>知識・技術の整理をしつつ、相手への伝え方、タイミングなど効果的な指導が出来るようなスキルを向上させたい。</p>
<p>118. 月30-40時間などの残業、部下の育成。</p>
<p>119. グループで目標を達成するようなリーダーとなって、会社の為に役立ちたい。その為には、あるべき姿をグループで共有し、その姿を全員で目指すために、何をすべきか、皆で考える場を提供する必要がある。</p>
<p>120. 定年退職後の生活を充実できるよう、会社以外の生活を大切にすため、メリハリのあある働き方をする。平日も家族との時間をつくるために、早く帰宅する日を決めて、業務の負荷を調整する。</p>
<p>121. これまでの知識、経験を活かしながら、マネジャーとして働きたい。その為には常に新しい技術や世の中の動向に興味を持ち、学びながら、「正しい判断が出来る」様心掛けていなければならない。</p>
<p>122. 体力の低下もあるので、役職から解放いただき人材育成をメインに働きたい(製品担当など責任の発生する業務だと残業が80H以上かかるので)→そのために40代での役職者を増やし、組織の若返りを進める。</p>
<p>123. 自らの知識や経験を中堅層や若年層にしっかりと伝えられ、それを通じて、部下や周囲の同僚の育成を図るような働き方がしたい。これから経験する業務や人生経験について、何事にも一過性とせず、自分の血肉となるよう、探求心を持ち続けていこうと思います。</p>
<p>124. 出戻り制度あったら。他社でいろいろベンキョウしてトヨタにもっとも貢献できるような状態になりたい。</p>
<p>125. ・時間にゆとりのある働き方(仕事について考える時間、家族、プライベートについて考える時間を両立)・部下との信頼関係作り、メリハリのある働き方の率先垂範等が必要。</p>
<p>126. 社内の高齢化が進む中で、自分が今まで経験してきた得意とする分野を次世代の若者に現地現物でしっかりと伝承することで貢献していきたい。現状は人員削減で皆、業務に追われ余裕がないため。人材育成がほとんどできていない状況。会社として目先の利益を追求するのではなく、将来的な成長を確保するために一時的な負担を認められる判断が必要だと思う。</p>
<p>127. 今までの経験(実務、仕事の価値観)を踏まえたくえで、若い世代の教育を含めた働き方をしたい。さらに、私生活と仕事のバランスを取り、退職後の人生を模索したい。</p>
<p>128. 今と同じ様な働き方。ただし地位や役職は今よりも更に上へ行きたいです。</p>
<p>129. 今のままで良いと思う。</p>
<p>130. 自分の裁量で動ける働き方。小さくても良いので社長、工場長の様な、一経営者的立場で物事の管理、方向性を見出すも良し、Projectにたずさわり、Project Leader的な立場で、新しいビジネス分野、領域に切り込むなど。起業に興味あったが、リスク取れず大企</p>

業に包まれる道を選んだ反動での思いと感じる。
131. 会社の中心的存在として、担当業務と部署メンバーを牽引している。
132. 世間から頼りにされる働き方をしたい。今からでも自分の能力を最大限にする努力。
133. 想像できない。仕事が変われば役割も変わる。その時の仕事を全っとうすることが必要と考える。
134. 仕事で無理をしすぎているため、健康面を意識した働き方ができるよう仕事のやり方、段取りなどを考え、効率よく仕事を行っていききたい。
135. 40代の延長でより経験を積み力を発揮し続けたい。適正な人事評価を役割の付与。
136. 今と同様モチベーション高く働きたい。 そのためには体力を維持することが必要。
137. 正直よくわからない。その時の会社から自分への期待値によっても働き方はかわってくると思う。
138. 来年には50になりますので当面は現在の役割を全うしたいと思っています。
139. 今と同じように会社へ出勤してきて、部下一人一人とコミュニケーションを取りながら、仕事の付与やフォローを実施し、現地・現物で事実に基づいた判断をしたい。(顔が見えない在宅勤務は反対です。) より多くの部下(100名以上)の部下を動かし、より多くのアウトプットを出して、会社の利益に貢献していきたい。
140. 既存の仕事にしがみつくのではなく、社会に必要とされる仕事を創造できる働き方をしたい。そのためには、常に知らないことを学び、取入れていくことが必要と思います。
141. スタッフ高齢化になる中、組織が継続して現在の業務を推進し社会に貢献できるように、業務の進め方を現在よりも効率的にし、組織の開発力を上げるための活動に携わりたい。そのために開発設備の充実化、開発資料の効果的な蓄積を図っていく。
142. プロとして活やくしたい。
143. 自動車業界に変革が求められる中で、事業価値の創造・向上にこだわった働き方を目指したい。これまでの文化や方法、価値観にとらわれず、場面場面で適切なアプローチを見つけ出す適応力を磨くことが必要、そのために、現在の自分の弱味や足りない点を客観的に捉え、補う努力、そのための行動力が大切になってくると考える。